



プチ自慢8



有限会社 中里スプリングが、 【2018年版 ものづくり白書】に 事例として掲載されました。

【概要版】P 15

第2節「現場力」を再構築する「経営力」の重要性

【コラム】ユニークな人事制度策定により働き方改革を推進

(有) 中里スプリング製作所

群馬県高崎市、バネ製造、従業員21名

同社は、“日本一楽しい会社”を目指したいという社長の熱い思いから、年間で最も頑張った社員には、会社の設備・資材を使って好きなものを作ることができる権利や、または担当する取引先を選ぶことができる権利が与えられる「ご褒美制度」を設けている。また、全社員で職位に関係なくやりたいことを宣言する「夢会議」を月一度開催するのも特徴的な取組。

全国1,900社以上にのぼる取引先を抱えるが、最も多く残業する社員でも年間約20時間程度。活気のある職場づくりとメリハリの効いた働き方を推進している。

【本文】P 109・110

第2節 人手不足が進む中での生産性向上の実現に向け、
「現場力」を再構築する「経営力」の重要性

コラム

ご褒美制度と残業禁止、日本一楽しい町工場を目指す ・・・(有) 中里スプリング製作所

(有) 中里スプリング製作所（群馬県高崎市）は各種コイルスプリング・板ばねの製造を手がけ、取引先は全国1,900社以上にのぼる。ワイヤーを使ったインテリアやアクセサリといったオリジナルアートも制作しており、製造品目は多岐広範に及ぶ。それにもかかわらず、同社は残業禁止で定時には全員が退社し、最も多く残業する社員でも年間約20時間程度にとどまっている。しかも、この働き方改革は二代目経営者である現在の中里社長が経営を引き継いだ40年前から実践している。

中里社長が後継者として入社した当時、社員は毎日2時間程度の残業は当たり前で、かつ、土曜日にも働いていた。“日本一楽しい町工場でありたい”と考えていた中里社長はある日社員に「8時間ずつしっかり仕事、しっかり睡眠、しっかり遊ぶという3分法でいこう」と持ちかけ、残業禁止を宣言した。社員からは反発もあったが、とにかく夕方5時になったら消灯し、社長も含めて全員が帰宅。やり残しの仕事は社長がこっそり事業所に戻り、明け方までに仕上げるという日々を続けた。

しかし、社長が黙っていても社員は社長がやり残しの仕事をしていることに気づき、やがて社員は定時までにもっと効率よく作業を終わらせることができるのではないかと創意工夫に励むようになった。「生産性を上げよ」と号令をかけても社員はやらされ感が高まり身構えてしまうことが多いが、そうではなく、中里社長は社員が自ら気づき、仕事にプライドを持って取り組めるように仕向けることが何より重要だと考えている。なお、残業時間が無くなった分、同社は半年間のうちに50時間分の基本給上乘せも行った。

ものづくりである製造業は、“技の道を究めるという人財育成をすべき”というのが中里社長の信念である。“余分なことまでしてみよう”、そうした気持ちがないとなかなか腕は上がらない。うまく失敗できる仕組みをつくることも重要と考え、同社の評価方法は減点法ではなく、徹底した加点主義となっている。さらに、年間で最も頑張った社員を表彰する「ご褒美制度」があり、表彰された社員は2つの権利から一つを選ぶことができる。具体的には、担当する取引先を選ぶことのできる権利や就業時間内に工場内の好きな設備や資材を使って、好きなモノづくりを行う権利である。ベテラン職人はノウハウを抱え込みがちであるが、若手社員が「この機械の使い方を教えてくださいませんか」とベテランに頼むと、「ご褒美制度なら協力するよ」と自らのすぐ技を教えてくれる。このご褒美制度を続けてきたことで、同社の社員は多能工化を果たしてきた。

ご褒美制度とは別に、誰の下で働きたいかという希望を出せる制度も整備した。誰の下で働くかでモチベーションも大きく変わる。欠点を直すのではなく、やる気を引き出し、一品一様の社員教育によりそれぞれの長所や特徴を伸ばす。そして、モチベーションやプライドを高めることで、自ずと生産性は上がる。この他にも、全社員で職位に関係なくやりたいことを宣言する「夢会議」を月一度開催するなど、特徴的な取組を行っている。社員のプライドを高めるために中里社長が取組んでいることの一つが、パートも含む社員全員に「名刺」を持たせることである。社会人となったからには、対外的に堂々と「中里スプリング製作所の社員である」と名乗れる誇りをもってもらいたいと考えており、「名刺」も中里社長にとっては社員に能力を発揮してもらうための重要な手段となっている。

図1 あらゆる形状のばねに小ロットで対応



出所：(有) 中里スプリング製作所より提供

図2 ワイヤアート「ばね鋼房」ではユニークな自社製品の製作も

